【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和7年6月10日(2025.6.10)

【公開番号】特開2022-189820(P2022-189820A)
【公開日】令和4年12月22日(2022.12.22)
【年通号数】公開公報(特許)2022-236
【出願番号】特願2022-94512(P2022-94512)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ 35/02(2006.01)
Ｇ０１Ｎ 35/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ 35/02 Ｃ
Ｇ０１Ｎ 35/00 Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月2日(2025.6.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＩＶＤ実験室（１）においてインビトロ診断用ＩＶＤ容器（３０）を取り扱うための自動化された方法であって、前記方法が、
ＩＶＤ容器（３０）の少なくとも１つの物理量を測定するステップと、
前記少なくとも１つの物理量を、前記ＩＶＤ容器（３０）に取り付けられた読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）に記憶するステップと、
前記ＩＶＤ容器（３０）に取り付けられた前記読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）から前記少なくとも１つの物理量を取得するステップと、
を少なくとも含む、方法。
【請求項２】
前記測定するステップが、第１のＩＶＤ実験器具（１０）において実行され、
前記取得するステップが、第２のＩＶＤ実験器具（１０）において実行される、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記第１のＩＶＤ実験器具（１０）が、分析前ＩＶＤ実験器具（１０ＰＲＥ）であり、
前記第２のＩＶＤ実験器具（１０）が、分析ＩＶＤ実験器具（１０ＡＮＡ）および／または分析後ＩＶＤ実験器具（１０ＰＯＳＴ）である、
請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記方法が、
取得された前記少なくとも１つの物理量に基づいて前記ＩＶＤ容器（３０）の取り扱いに関連する容器処理ステップを指定するステップを含む、
請求項１に記載の方法。
【請求項５】
取得された前記少なくとも１つの物理量に基づいて前記ＩＶＤ容器（３０）の取り扱いに関連する容器処理ステップを指定する前記ステップが、容器処理ステップを選択することを含む、請求項４に記載の方法。

【請求項６】
取得された前記少なくとも１つの物理量に基づいて前記ＩＶＤ容器（３０）の取り扱いに関連する容器処理ステップを指定する前記ステップが、容器処理ステップの処理パラメータを選択することを含む、請求項４に記載の方法。
【請求項７】
取得された前記少なくとも１つの物理量に基づいて前記ＩＶＤ容器（３０）の取り扱いに関連する容器処理ステップを指定する前記ステップが、グリッパ（１３）が前記ＩＶＤ容器（３０）を把持する把持力を指定することを含む、請求項４に記載の方法。
【請求項８】
前記少なくとも１つの物理量が、前記ＩＶＤ容器の少なくとも一部の少なくとも１つの寸法を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記少なくとも１つの物理量が、
前記ＩＶＤ容器（３０）の壁厚と、
前記ＩＶＤ容器（３０）の外側３Ｄ形状と、
前記ＩＶＤ容器（３０）の３Ｄ形状と、
前記ＩＶＤ容器（３０）の角度と、
前記ＩＶＤ容器（３０）の曲率と、
のうちの１つ以上を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項１０】
生物学的試料を分析するように設計され且つＩＶＤ容器（３０）を取り扱うように設計されたＩＶＤ実験室（１）であって、前記ＩＶＤ実験室（１）が、１つ以上のＩＶＤ実験器具（１０）を備え、前記ＩＶＤ実験室（１）が、請求項１から９のいずれか一項に記載の方法を実行するように設計されており、前記ＩＶＤ実験室（１）が、
前記ＩＶＤ容器（３０）の前記少なくとも１つの物理量を測定するように設計された測定ユニット（２０）と、
前記ＩＶＤ容器（３０）に取り付けられた読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）内に前記少なくとも１つの物理量を記憶するように設計された記憶ユニット（２１）と、
前記ＩＶＤ容器（３０）に取り付けられた前記読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）から前記少なくとも１つの物理量を取得するように設計された取得ユニット（２２）と、
を備える、ＩＶＤ実験室（１）。
【請求項１１】
前記ＩＶＤ実験室（１）が、それぞれが１つ以上のＩＶＤ容器（３０）を保持するように設計され且つそれぞれが読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）を備える複数のＩＶＤ容器ホルダ（４０）を備え、
前記記憶ユニット（２１）が、前記ＩＶＤ容器ホルダ（４０）に含まれる前記読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）内にＩＶＤ容器（３０）の物理量を記憶するように設計されており、
前記取得ユニット（２２）が、前記ＩＶＤ容器ホルダ（４０）に含まれる前記読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）からＩＶＤ容器（３０）の物理量を取得するように設計されている、
請求項１０に記載のＩＶＤ実験室（１）。
【請求項１２】
前記ＩＶＤ実験室（１）が複数のＩＶＤ容器（３０）を備え、
前記ＩＶＤ容器（３０）のそれぞれに、読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）が取り付けられ、
前記記憶ユニット（２１）が、前記ＩＶＤ容器（３０）に取り付けられた前記読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）内にＩＶＤ容器（３０）の物理量を記憶する

ように設計されており、
前記取得ユニット（２２）が、前記ＩＶＤ容器（３０）に取り付けられた前記読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）からＩＶＤ容器（３０）の物理量を取得するためのものである、
請求項１０に記載のＩＶＤ実験室（１）。
【請求項１３】
請求項１０に記載のＩＶＤ実験室（１）において使用するためのＩＶＤ容器ホルダ（４０）であって、
前記ＩＶＤ容器ホルダ（４０）が、ＩＶＤ容器（３０）を保持するように設計されており、
前記ＩＶＤ容器ホルダ（４０）が、
前記ＩＶＤ容器ホルダ（４０）によってＩＶＤ容器（３０）が保持されているかどうかを検出するように設計された容器検出センサ（４１）と、
ＩＶＤ容器（３０）に関連付けられた物理量を記憶するように設計された読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）と、を備え、
前記ＩＶＤ容器ホルダ（４０）が、このＩＶＤ容器（３０）がもはや前記ＩＶＤ容器ホルダ（４０）によって保持されていないことを前記容器検出センサ（４１）が検出した場合に、前記読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）からＩＶＤ容器（３０）に関連付けられた物理量を消去するように設計されている、
ＩＶＤ容器ホルダ（４０）。
【請求項１４】
前記容器検出センサ（４１）が、バネ機構を備え、閾値よりも大きいバネ荷重が、ＩＶＤ容器（３０）が前記ＩＶＤ容器ホルダ（４０）によって保持されていることを示す、請求項１３に記載のＩＶＤ容器ホルダ（４０）。
【請求項１５】
前記ＩＶＤ容器ホルダ（４０）が、ＩＶＤ容器（３０）を保持するための複数の位置を備え、
前記容器検出センサ（４１）が、ＩＶＤ容器（３０）がどの位置に保持されているかを検出するように設計されており、
前記読み取りおよび書き込み可能データキャリア（５０）が、ＩＶＤ容器（３０）がどの位置に保持されているかを示す情報とともに、前記ＩＶＤ容器（３０）に関連付けられた物理量を記憶するように設計されている、
請求項１３に記載のＩＶＤ容器ホルダ（４０）。